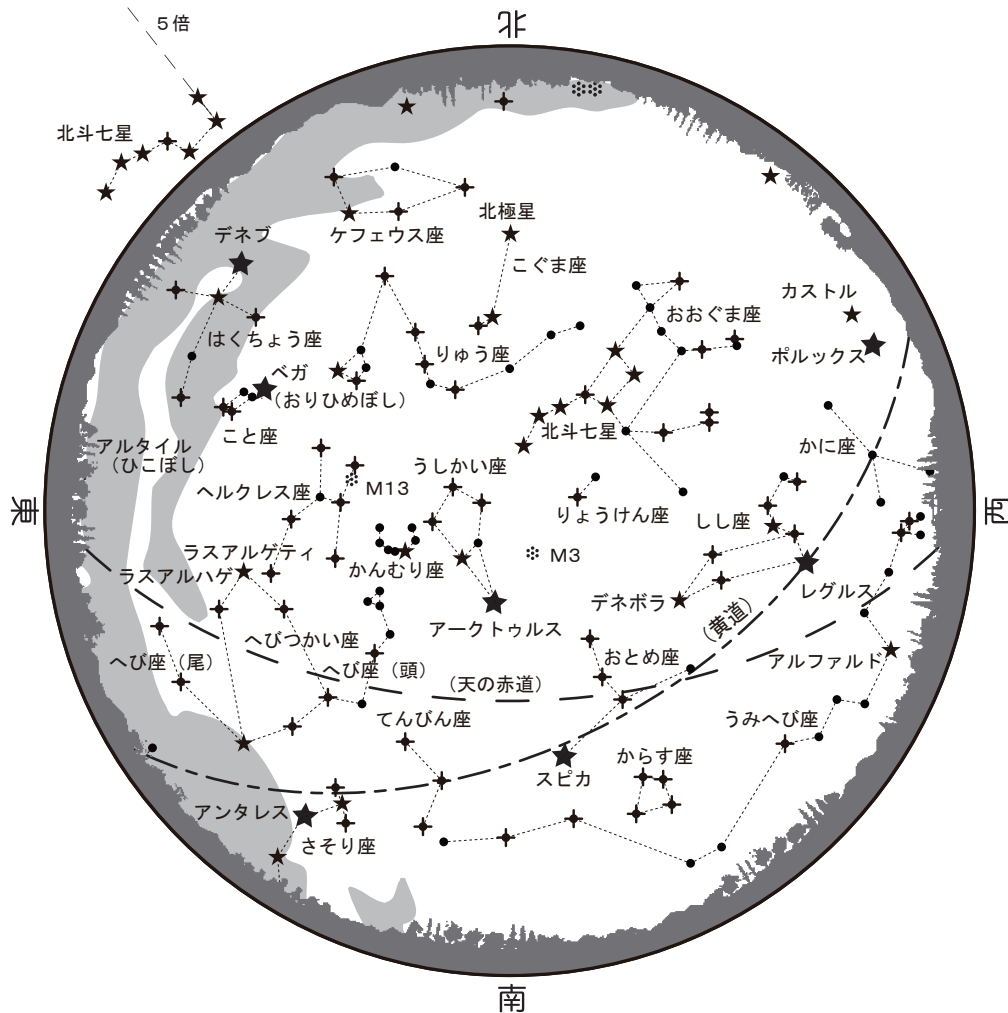


# 富山でみえる 2020年6月の星空

北極星の見つけ方

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。



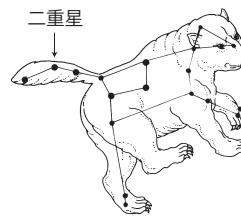
- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～

6月 5日 午後9時ころ  
6月 20日 午後8時ころ  
7月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

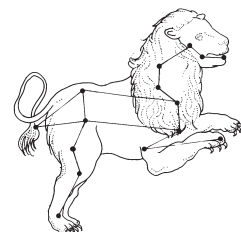
6月 6日 満月 ○  
6月 13日 下弦 ①  
6月 21日 新月 ●  
6月 28日 上弦 ①



## おおぐま座

北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」

がある星座です。北斗七星は、おおぐまのおしりからしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、肉眼でも分かる二重星です。



## しし座

「？」マークを左右裏返しにしたような星の並びがしし座の目印で、「ししの大鎌」といいます。この大鎌のいちばん下で白く輝く星が1等星のレグルス、しっぽの星が2等星のデネボラです。今にもジャンプしそうな姿を星空に作ることができます。



## うしかい座

とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星の明るさは0等星で、「熊の番人」という意味があります。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いが飼っている犬です。



## おとめ座

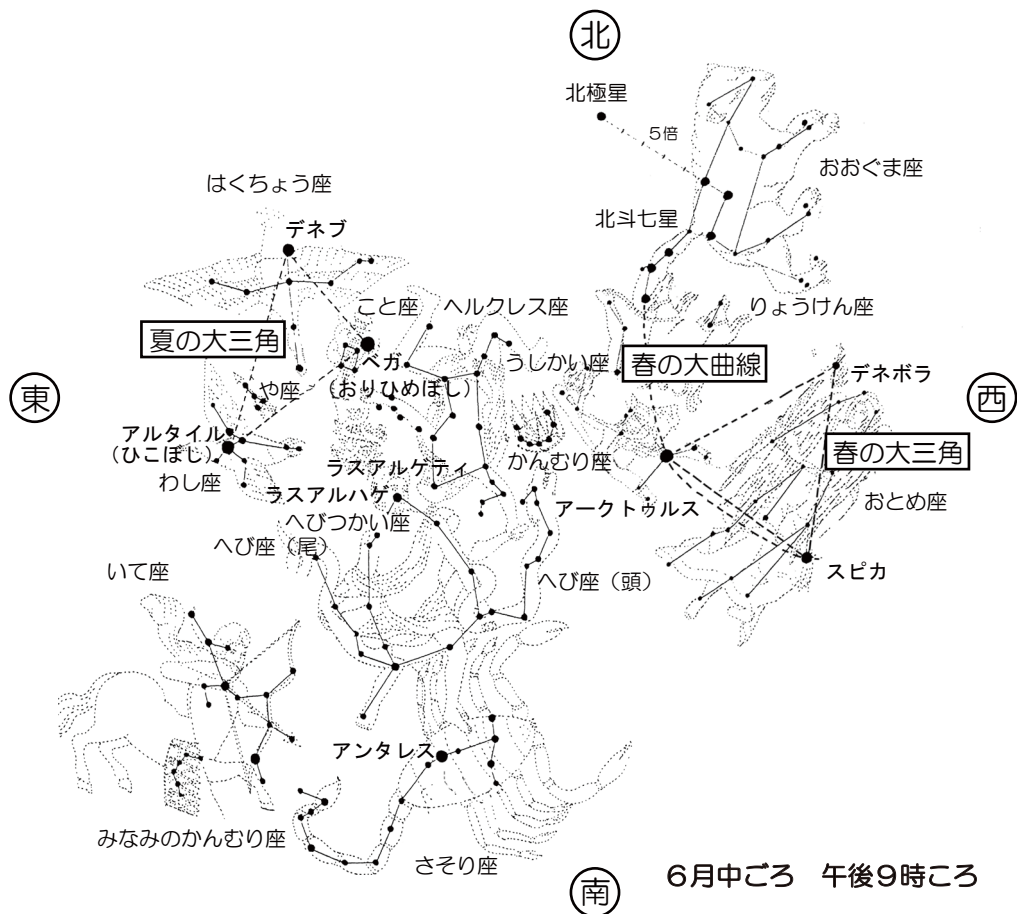
青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂先という意味があります。



## ヘルクレス座

ギリシャ神話の中でもたくさんの武勇伝をもつ英雄ヘラクレスが、星座となって頭の真上近くで輝いています。星座名はヘルクレスといい、その頭文字Hの形が目印の星座です。

# 春・夏の星座の見つけかた



6月中ごろ 午後9時ごろ

- 1 北の空で、七つの星がひしゃくの形に並んだ「北斗七星」を見つけ、そこから北極星を見つけます。
- 2 北斗七星の、ひしゃくの持ち手のカーブを伸ばし、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカと続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アークトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 東の空に、青白くてとても明るい、こと座のベガを見つけます。それを手がかりとして、「夏の大三角」を見つけます。
- 5 南の空に、赤い星アントARESと釣り針の形をしたさそり座を見つけます。

## 6月21日 部分日食

6月21日の午後から夕方にかけて、日本全国で部分日食が見られます。富山では、太陽の直径の半分近くまで欠けます（およそ47%）。しかし、太陽の明るさはいつもと変わらないので、太陽を直接見ることは危険です。観察は、日食観察メガネやピンホールを使うなど、安全な方法で行ってください。次に富山で見ることができるのは10年後なので、ぜひ観察したいですね。

また、アフリカから北インド、中国、台湾では金環日食となります。月よりも太陽の見かけの大きさの方が少し大きいので、リング状に光って見えます。



金環日食

## 金星 ～宵の明星から明けの明星へ～

夕方の西の空で宵の明星として輝いていた金星。6月4日には太陽と地球の間を金星が通りほぼ一直線に並ぶため、金星は見えなくなります。しばらくは、太陽との見かけの位置が近く観察が難しいです。早朝の東の空で明けの明星として見え始めるのは6月末ごろ。いつから見えるか、注目したいですね。

3月末ごろ～8月中ごろの金星の動き

